

博報堂生活総合研究所 生活者にきいた“2017年 生活気分”を発表

生活者が予想する2017年の生活気分は…

- 「趣味・遊び」より「睡眠・休息」に力を入れたい
- 女性のやめたいこと1位は「仕事・会社」

博報堂生活総合研究所は、このたび、生活者にきいた“2017年 生活気分”をまとめました。本レポートは生活総合研究所が2017年の景況感や楽しさ予想、力を入れたい活動などについて、全国の20~69歳男女3,900人に調査した結果を生活者視点で分析し、まとめたものです。

調査結果からは2017年の景気や家計の先行きについて「変わらない」と予想する人が増加していることや、力を入れたいこととして「動く・楽しむ」より「休む・落ち着く」を求めていること、女性の思い切ってやめたいこと1位が「仕事・会社」であることなど、生活者の2017年に向けたさまざまな気分が見えてきました。

調査からの発見サマリー

家計のゆくえ

2017年の景況感予想

過半数の生活者が、景気・家計は「変わらない」と予想

- 2017年の世の中景気/自分の家計が「良くなる」「悪くなる」と予想する人は前回調査(2016年)と比べて減少。
- そのぶん「変わらない」との予想が多くなっています(世の中の景気52.5%→63.2%/自分の家計50.9%→57.2%)。

参考：消費意欲指数

生活者の消費意欲は、長らく「横ばい」が続いている

- 毎月の「消費意欲指数」は消費税から1年後の2015年4月と同じ水準を、2016年も推移。
- 2016年中の最大値(48.7点・1月)と最小値(48.0点・11月)の幅は0.7ポイントと、上下の振れ幅は過去最少でした。

2017年の楽しさ予想

世の中で楽しいことは、2016年と「変わらない」が7割

- 2016年世の中で楽しかったことは「少なかった」が「多かった」を上回り、2017年は7割近くが「変わらない」と予想。
- 男女別では、女性のほうが2016年の楽しいことは多く、さらに2017年も「多くなる」と楽観的に予想しています。

2017年の生活力点

力を入れたいことは「趣味・遊び」よりも「睡眠・休息」

- 2017年に力を入れたいことは、「睡眠・休息」がトップ。次いで「健康」「趣味・遊び」という結果となりました。
- 「睡眠>趣味」の傾向は「生活定点」調査でも同様に見られ、「動くより休みたい」は今後のトレンドとなりそうです。

2017年 はじめたい/やめたい

思い切ってやめたいことで、女性の1位は「仕事・会社」

- 2017年にはじめたいことがある人は、全体の35.4%。やめたいことがある人は23.5%となりました。
- やめたいことの内容について、女性では「仕事・会社」が1位となりました。
- はじめたいことの内容は「運動・スポーツ」「勉強・資格や免許取得」「就職・転職・起業」などが挙がりました。

2017年に感じそうな気分

ポジは「しみじみ」、ネガは「いらいら」がトップに

- 2017年に感じそうな気分は、ポジティブなものでは「しみじみ」「ほのぼの」「ほっ」が上位となりました。
- 同様に、ネガティブな気分では「いらいら」「あたふた」「もやもや」が上位となりました。

2017年を表す色

男性は「青」「グレー」、女性は「黄」「オレンジ」

- 2017年を色で表現してもらうと、「青」「グレー」「白」が上位に並びました。
- 男女別では、男性は全体と同様ですが、女性では「黄」「オレンジ」「白」と比較的明るい色が上位になりました。

気持ちのゆくえ

2017年の景況感予想

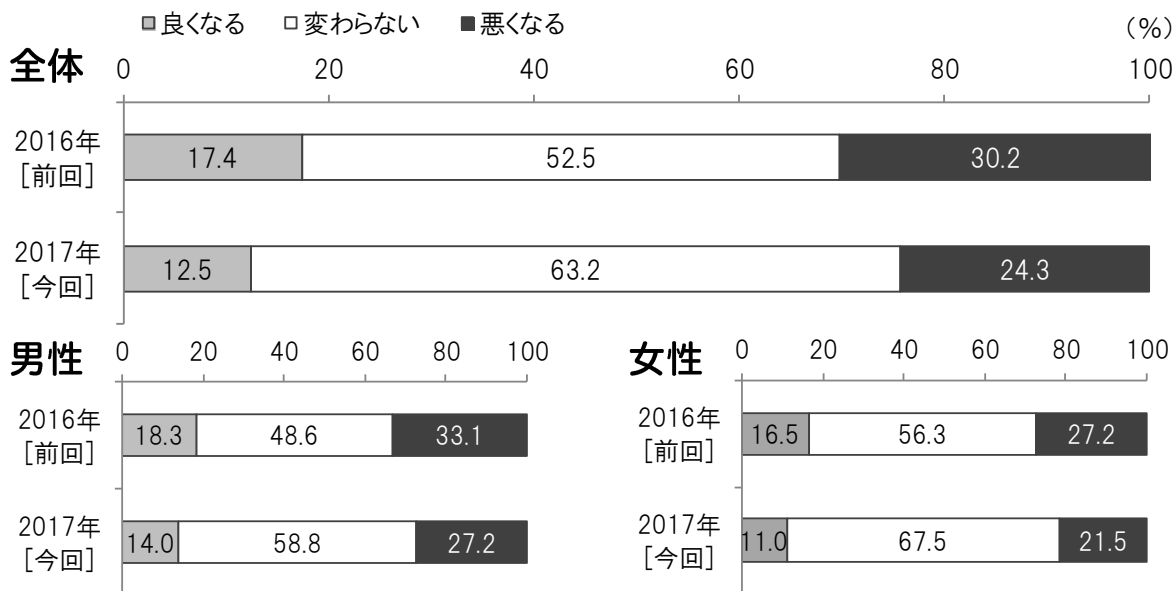
過半数の生活者が、景気・家計は「変わらない」と予想

- ・2017年の世の中の景気/自分の家計が「良くなる」「悪くなる」と予想する人は前回調査(2016年)と比べて減少。
- ・そのぶん「変わらない」との予想が多くなっています(世の中の景気52.5%→63.2%:+10.7pt/自分の家計50.9%→57.2%:+6.3pt)。
- ・男女別では、世の中の景気/自分の家計どちらも、女性のほうが「変わらない」と予想する人が多いようです。

世の中の景気予想



2017年(来年)の「世の中の景気」は、2016年(今年)と比べてどうなと思いますか(単一回答)

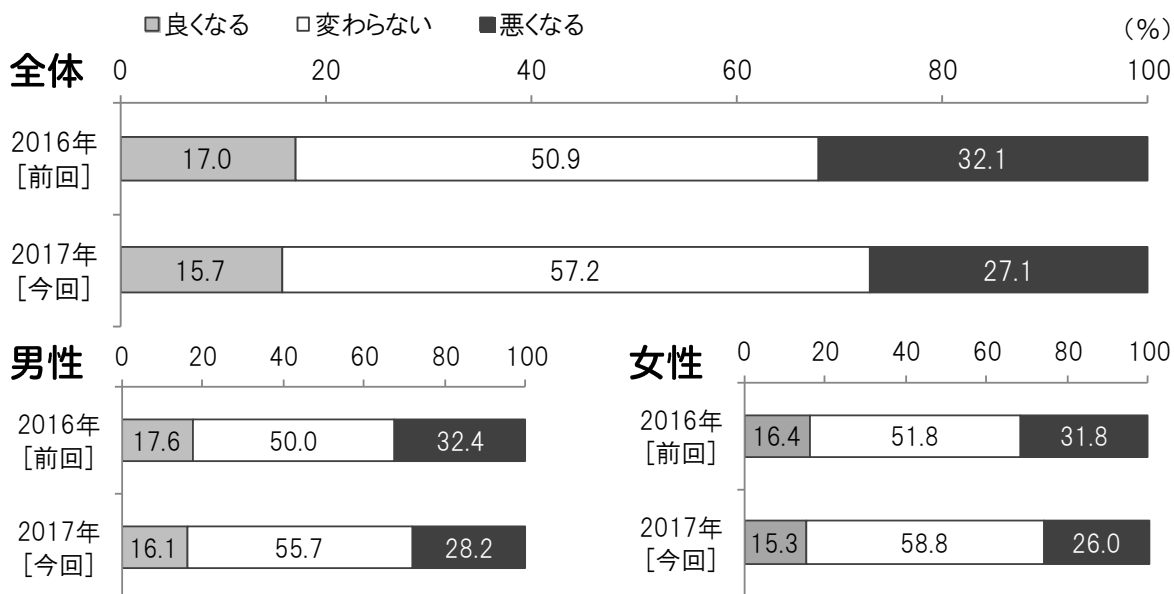


2017年、予想通り世の中の景気が良くなると？	東京五輪に向けて、経済が回り、皆が外出する(女性22歳)/若者の趣味や娯楽の消費が増える(男性41歳)/今のまま安定した世の中が続く(男性37歳)/よくなると言っても成長は2%程度なので、個々人に大きな変化はない(女性33歳)
2017年、予想通り世の中の景気が悪くなると？	雑貨・衣類・書籍などの売上が落ち、娯楽を利用する客が減る(男性26歳)/失業率の増加、生活保護者の増大(男性33歳)/皆あきらめ半分で生活し続ける(女性47歳)/景気が悪くなくても世の中はそれほど変わっていない。ここ20年以上よくなっていないので、あまり変わらないと思います(男性51歳)

自分の家計予想



2017年(来年)の「自分の家計状態」は、2016年(今年)と比べてどうなと思いますか(単一回答)



2017年、予想通り自分の家計が良くなると？	貯金が今までよりできるようになる(女性26歳)/今まで買えなかった大きな家具や家電を買ってインテリアを充実させる(女性32歳)/お金ストレスが軽減し家族が一層仲良くなる(男性35歳)/変わらない。現状維持で気持ちにゆとりができる(女性50歳)
2017年、予想通り自分の家計が悪くなると？	食費を削らないといけない(女性23歳)/家族間の喧嘩が今年以上に増えるだろうと思う(男性28歳)/貯金を崩して生活せざるを得ないので貯金がなくなる(女性36歳)/必要最低限の買い物しかしないと(女性58歳)

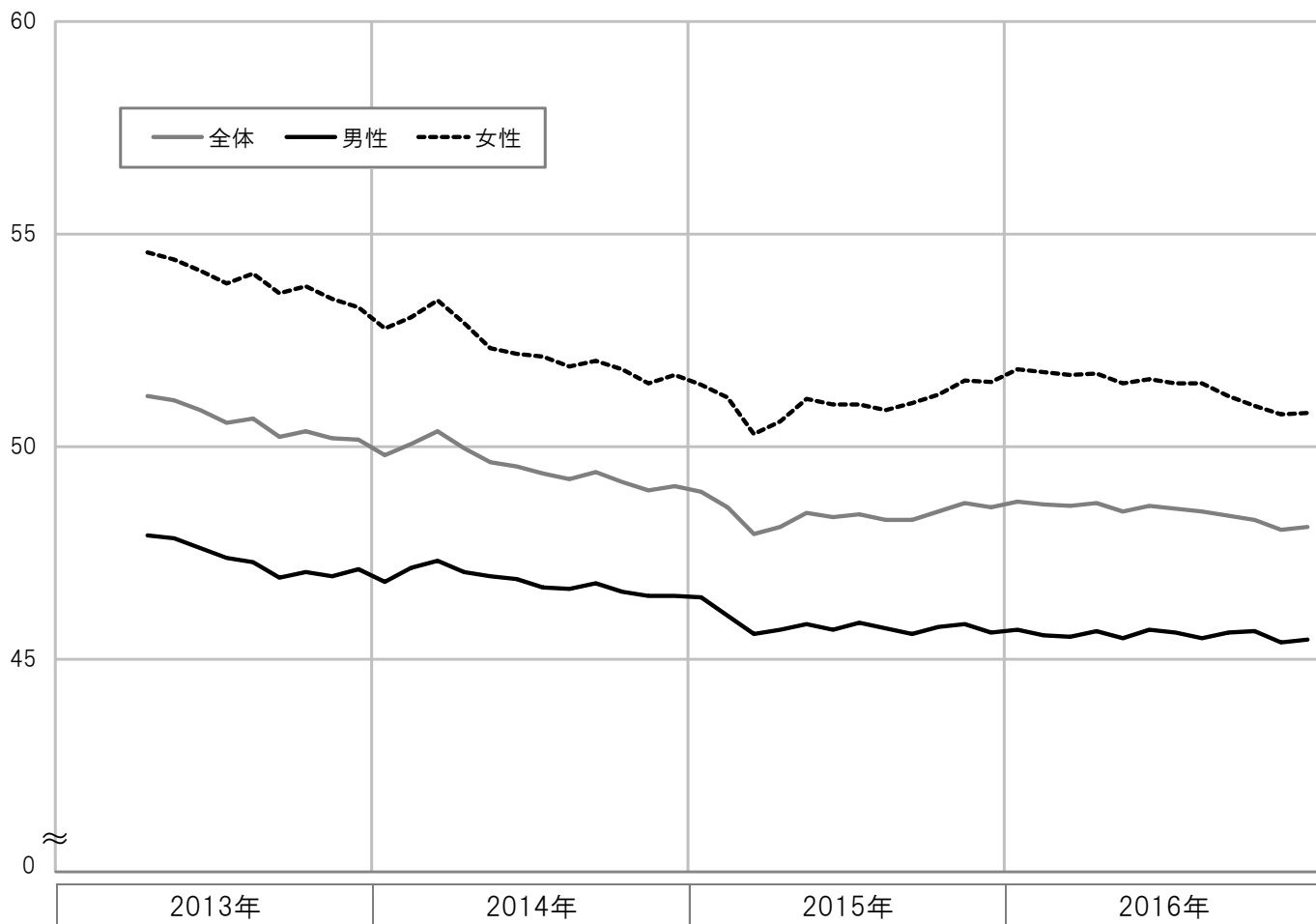
参考：消費意欲指数

生活者の消費意欲は、長らく「横ばい」が続いている

- ・ 毎月の「消費意欲指数」は消費増税から1年後の2015年4月と同じ水準を、2016年も推移。
- ・ 2016年中の最大値(48.7点・1月)と最小値(48.0点・11月)の幅は0.7ポイントと、過去最少の振れ幅に留まっています。
- ・ 2017年の景気・家計に対する「変わらない」予想増加の背景には、横ばいが続く消費意欲も関係していると推察されます。

Q 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月の消費意欲は何点くらいですか(自由回答。後に集計)

(点)



(点)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2013年	全体				51.2	51.1	50.8	50.6	50.6	50.2	50.4	50.2	50.1
	男性				47.9	47.8	47.6	47.4	47.3	46.9	47.0	46.9	47.1
	女性				54.5	54.4	54.1	53.8	54.0	53.6	53.7	53.4	53.3
2014年	全体	49.8	50.0	50.3	49.9	49.6	49.5	49.4	49.2	49.4	49.2	49.0	49.1
	男性	46.8	47.1	47.3	47.0	46.9	46.9	46.7	46.6	46.8	46.6	46.5	46.5
	女性	52.8	53.0	53.4	52.9	52.3	52.2	52.1	51.9	52.0	51.8	51.5	51.7
2015年	全体	48.9	48.5	47.9	48.1	48.4	48.3	48.4	48.3	48.3	48.4	48.6	48.5
	男性	46.4	46.0	45.6	45.7	45.8	45.7	45.8	45.7	45.6	45.7	45.8	45.6
	女性	51.4	51.1	50.3	50.6	51.1	51.0	51.0	50.8	51.0	51.2	51.5	51.5
2016年	全体	48.7	48.6	48.6	48.6	48.4	48.6	48.5	48.5	48.4	48.3	48.0	48.1
	男性	45.7	45.5	45.5	45.6	45.5	45.7	45.6	45.5	45.6	45.6	45.4	45.4
	女性	51.8	51.7	51.7	51.7	51.5	51.6	51.5	51.5	51.2	50.9	50.7	50.8

数値は四季の気候や年中行事、特別の出来事などの影響をなくすため、12カ月移動平均法で調査結果を再集計した「季節調整値」

付帯資料③. 2017年 生活気分～気持ちのゆくえ～

2017年の楽しさ予想

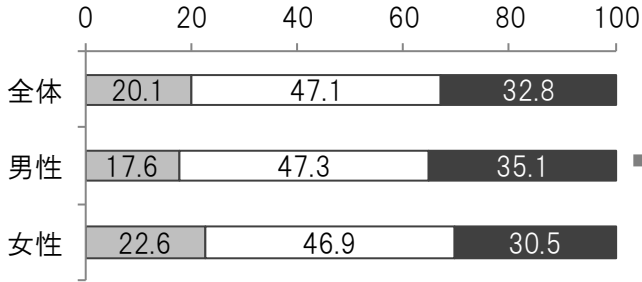
世の中で楽しいことは、2016年と「変わらない」が7割

- ・2016年世の中で楽しかったことは「少なかった」が「多かった」を上回り、2017年は7割近くが「変わらない」と予想。
- ・一方で、2016年身の回りで楽しかったことは「多かった」が「少なかった」をやや上回る結果となりました。
- ・男女別では、女性のほうが2016年の楽しいことは多く、さらに2017年も「多くなる」と楽観的に予想しています。

世の中で楽しかったこと

Q 2016年(今年)、「世の中」のことで楽しいと感じることは、多かったですか(単一回答)

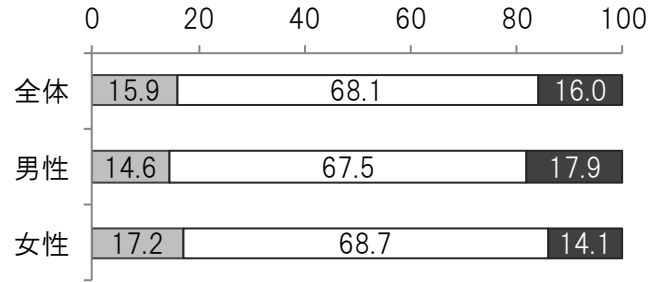
□ 多かった □ どちらともいえない ■ 少なかった (%)



世の中で楽しいこと予想

Q 2017年(来年)、「世の中」のことで楽しいと感じることは、2016年(今年)と比べてどうなるとおもいますか(単一回答)

□ 多くなる □ 変わらない ■ 少なくなる (%)

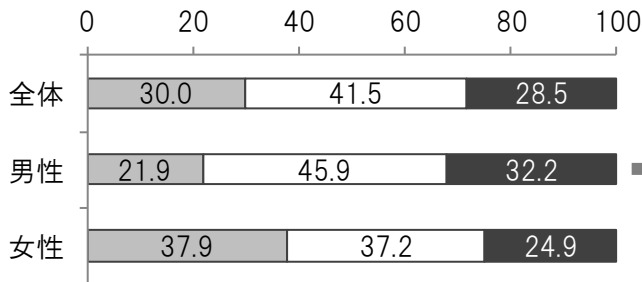


2017年、世の中で楽しいことが多くなると?	景気が良くなるので活気が出てくる(男性33歳)/イベントが年々派手になっていく。ハロウィンとかクリスマスとか(女性33歳)/プロスポーツが盛り上がると思う(男性40歳)/人々との出会い、ふれあいが増えそう(男性65歳)/目新しいことや楽しい街づくり、イベントが多くなりそう(女性63歳)
2017年、世の中で楽しいことが少なくなると?	オリンピックが終わり、様々な課題と向き合わなくてはならない時期になる(女性22歳)/今年はポケモンGOなど世の中のブームになるゲームやコンテンツが多かった。来年は落ち着き静かになっていきそう(女性27歳)/収入の伸びの鈍化や支出の増加で家族旅行などが減る(男性36歳)/オリンピックシーズンでなくなるため、スポーツを応援する時間が減り、楽しみも減ると思います(女性39歳)

身の回りで楽しかったこと

Q 2016年(今年)、「身の回り」で楽しいと感じることは、多かったですか(単一回答)

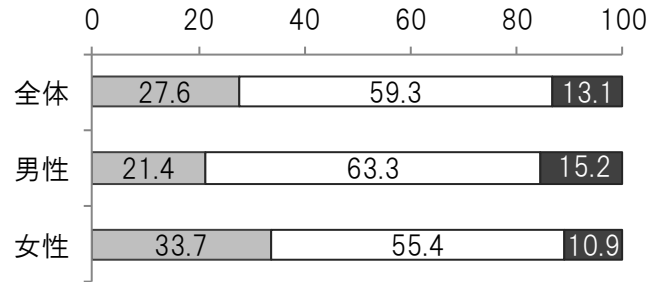
□ 多かった □ どちらともいえない ■ 少なかった (%)



身の回りで楽しいこと予想

Q 2017年(来年)、「身の回り」で楽しいと感じることは、2016年(今年)と比べてどうなるとおもいますか(単一回答)

□ 多くなる □ 変わらない ■ 少なくなる (%)



2017年、身の回りで楽しいことが多くなると?	自由な時間が増え、今まで以上に家族・友人と交流できるようになる(男性29歳)/家族と旅行に行ったり、買い物をしたりする機会が増える(女性32歳)/子供が進学し、部活の応援など刺激が多くなる(男性53歳)/SNSで懐かしい友人とまたつながり、集まる機会が増えて楽しくなる(女性52歳)
2017年、身の回りで楽しいことが少なくなると?	交友関係で関わりが薄くなっていく(男性21歳)/楽しいことに使うお金が減る(女性27歳)/両親が高齢なので様々な心配事が増えて楽しいことよりも大変なことが増えてくると思う(女性41歳)/自分と仲間の高齢化でイベントが減少する(女性61歳)

付帯資料④. 2017年 生活気分～気持ちのゆくえ～

2017年の生活力点

力を入れたいことは「趣味・遊び」よりも「睡眠・休息」

- ・2017年に力を入れたいことは、「睡眠・休息」がトップ。次いで「健康」「趣味・遊び」となりました。
- ・男女別では全体的に女性のスコアが高くなりました。男性は「仕事」「エンタメコンテンツ」、女性は「家事」「ファッション」が挙がっているのが特徴的です。
- ・「睡眠>趣味」の傾向は「生活定点」調査でも同様に見られ、「動くより休みたい」は今後のトレンドとなりそうです。

力を入れたいこと

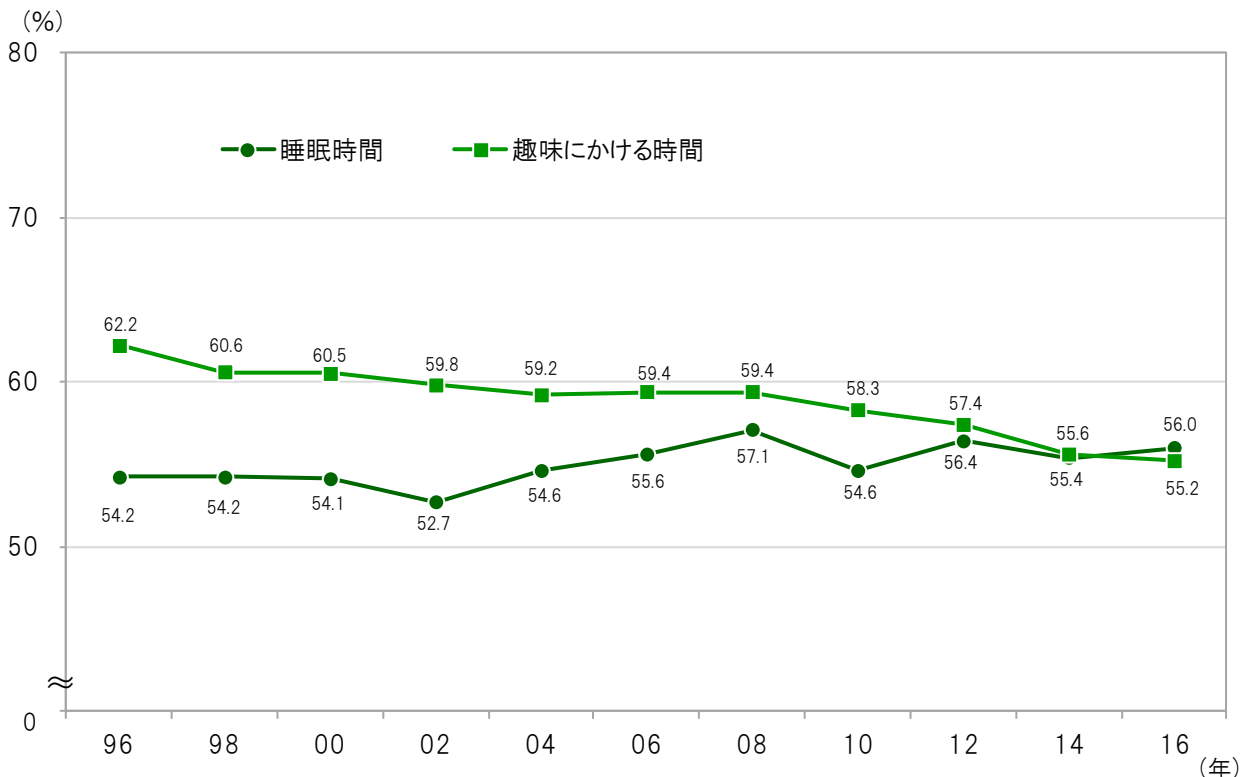


2017年(来年)、あなたは次にあげる生活行動にどの程度力を入れたいですか (単一回答)

全体 (%)			男性 (%)			女性 (%)		
1位	睡眠・休息	82.6	1位	健康	77.2	1位	睡眠・休息	88.5
2位	健康	82.2	2位	睡眠・休息	76.7	2位	健康	87.1
3位	趣味・遊び	78.1	3位	趣味・遊び	75.2	3位	趣味・遊び	81.0
4位	家族との交流	73.6	4位	貯蓄・投資	67.7	3位	家族との交流	81.0
5位	貯蓄・投資	73.1	5位	家族との交流	66.1	5位	貯蓄・投資	78.4
6位	家事	64.9	6位	友人・恋人との交流	55.8	6位	家事	77.2
7位	友人・恋人との交流	62.4	7位	仕事	55.1	7位	ファッション	73.3
8位	食事・飲酒	58.9	8位	食事・飲酒	55.0	8位	美容	70.6
9位	ファッション	57.0	9位	エンタメコンテンツ	54.7	9位	友人・恋人との交流	69.0
9位	エンタメコンテンツ	57.0	10位	家事	52.6	10位	食事・飲酒	62.8

参考:「生活定点」調査

- ・博報堂生活総合研究所が2年おきに調査を行なっている「生活定点」調査の2016年の結果では、「増やしたい時間」について、「睡眠時間」(56.0%)が「趣味にかける時間」(55.2%)をはじめて上回りました。



2017年 はじめたい/やめたい

思い切ってやめたいことで、女性の1位は「仕事・会社」

- ・2017年にはじめたいことがある人は、全体の35.4%。やめたいことがある人は23.5%となりました。
- ・やめたいことの内容について、女性では「仕事・会社」が1位となりました。
- ・はじめたいことの内容は「運動・スポーツ」「勉強・資格や免許取得」「就職・転職・起業」などが挙がりました。

思い切ってはじめたいこと



2017年(来年)、あなたが「思い切ってはじめてみたいこと」はなんですか。また、その理由はなぜですか(自由回答。後に集計)

はじめたいことがある人の割合とその内容

(%) (pt)

全体	男性	女性	女性-男性
35.4	32.4	38.4	+6.0

※ 自由回答集計後の上位5項目
※ %ははじめたいことがある人ベースで算出

全体 N=1,382人

(%)

男性 N=629人

(%)

女性 N=753人

(%)

順位	内容	割合 (%)	順位	内容	割合 (%)	順位	内容	割合 (%)
1位	運動・スポーツ	20.9	1位	運動・スポーツ	22.4	1位	運動・スポーツ	19.6
2位	勉強・資格や免許取得	16.0	2位	勉強・資格や免許取得	13.9	2位	勉強・資格や免許取得	17.6
3位	就職・転職・起業	13.2	3位	就職・転職・起業	11.3	3位	就職・転職・起業	14.8
4位	本業以外でお金を稼ぐ	8.5	4位	本業以外でお金を稼ぐ	11.0	4位	本業以外でお金を稼ぐ	6.7
5位	旅行・遠出	3.9	5位	旅行・遠出	4.3	5位	旅行・遠出	3.6

運動・スポーツ	体力の低下を防ぐため(男性49歳)/健康でいたいから(女性62歳)
勉強・資格や免許取得	スキルアップのため(男性45歳)/将来に備えて(女性34歳)/仕事に生かしたい(女性54歳)
就職・転職・起業	より安定した収入を得るため(男性25歳)/所得を増やして少し楽をしたい(女性53歳)
本業以外でお金を稼ぐ	貯蓄を増やしたい(男性29歳)/お小遣い稼ぎのため(女性46歳)/老後の安定のため(男性61歳)
旅行・遠出	今まであまり行っていないため(男性27歳)/誰にも干渉されず気ままに動きたい(女性56歳)

思い切ってやめたいこと



2017年(来年)、あなたが「思い切ってやめたいこと」はなんですか。また、その理由はなぜですか(自由回答。後に集計)

やめたいことがある人の割合とその内容

(%) (pt)

全体	男性	女性	女性-男性
23.5	22.9	24.0	+1.1

※ 自由回答集計後の上位5項目
※ %はやめたいことがある人ベースで算出

全体 N=915人

(%)

男性 N=444人

(%)

女性 N=471人

(%)

順位	内容	割合 (%)	順位	内容	割合 (%)	順位	内容	割合 (%)
1位	たばこ	21.1	1位	たばこ	30.9	1位	仕事・会社	13.8
2位	仕事・会社	12.9	2位	仕事・会社	11.9	2位	お金の無駄遣い・衝動買い	13.0
3位	お金の無駄遣い・衝動買い	10.2	3位	お金の無駄遣い・衝動買い	7.2	3位	たばこ	11.9
4位	間食・お菓子・甘いもの	4.7	4位	お酒・アルコール	5.4	4位	間食・お菓子・甘いもの	7.2
5位	お酒・アルコール	3.9	5位	ギャンブル・パチンコ	4.7	5位	人付き合い・コミュニティへの参加	3.8

たばこ	お金がかかるので(男性40歳)/健康のため(男性53歳)/妊活のため(女性33歳)
仕事・会社	続けていても安定はなく、体も壊す(女性26歳)/疲れている(男性31歳)/残業代が出ない(女性42歳)
お金の無駄遣い・衝動買い	貯金が増えないから(男性27歳)/無駄をなくす(男性39歳)/買ってみても結局使わないことが多い(女性54歳)
間食・お菓子・甘いもの	ダイエットしたい(女性24歳)/健康のため(女性44歳)/節約のため(女性53歳)
お酒・アルコール	健康のため(男性39歳)/お金がかかるから(女性43歳)/飲んで失敗したことがあった(男性61歳)

2017年に感じそうな気分

ポジは「しみじみ」、ネガは「いらいら」がトップに

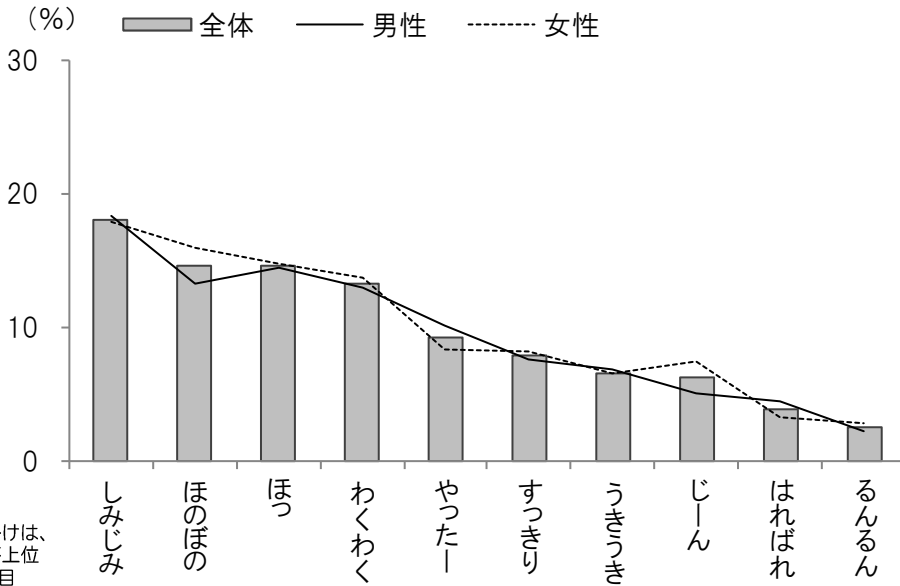
- 2017年に感じそうな気分は、ポジティブなものでは「しみじみ」「ほのぼの」「ほっ」が上位になりました。
- 同様に、ネガティブな気分では「いらいら」「あたふた」「もやもや」が上位になりました。
- 2017年は華やかな気持ちよりも、じんわり落ち着いた気持ちを感じるだろうと考えている生活者が多いようです。

ポジティブな気分



2017年(来年)、日常生活全般において、あなたは次にあげる気分や感情をどれくらいの頻度で感じるだろうと思いますか(単一回答)

その気分を強く感じそうなシーンは？

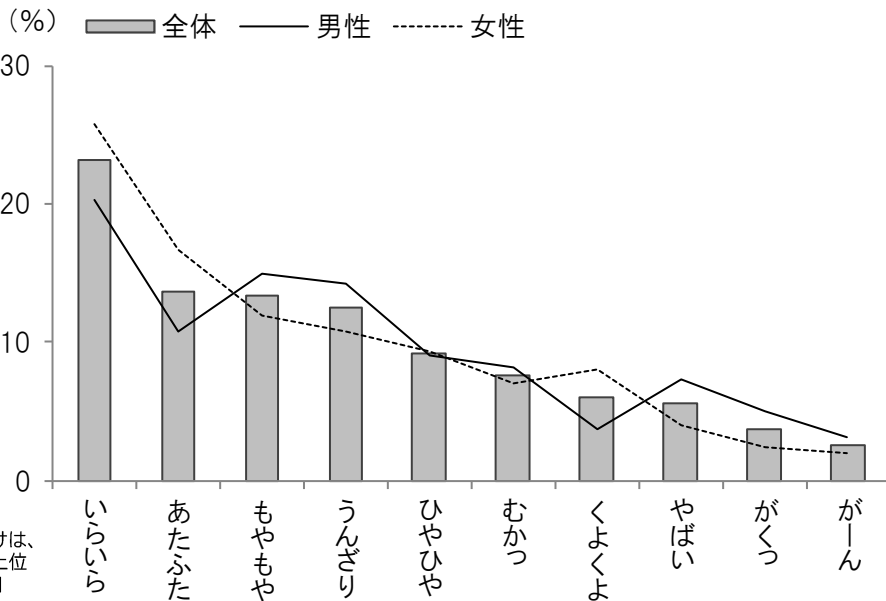


※網掛けは、回答上位3項目

	しみじみ	ほのぼの	ほっ	わくわく	やったー	すっきり	うきうき	じん	はればれ	るんるん
全体	18.1	14.6	14.6	13.3	9.2	7.9	6.6	6.3	3.9	2.5
男性	18.3	13.2	14.4	13.0	10.1	7.6	6.8	5.0	4.5	2.2
女性	17.9	16.0	14.8	13.7	8.3	8.2	6.5	7.5	3.3	2.8

しみじみ
家族との会話で自分が幸せ者だと改めて感じる(男性21歳)/子供たちの成長を見て思うだろうから(女性56歳)/今までの人生を振り返り過去の思い出に浸る(男性68歳)
ほのぼの
家族との団らん(男性29歳)/家でんびりする時間(男性56歳)/何もない普通の日に家族と一緒にいて、くだらない話などで笑いあう(女性45歳)/自分のペースで心穏やかに過ごせる時(女性62歳)
ほっ
心配事が乗り越えられた時(男性33歳)/仕事が無事に終わった時(男性43歳)/子供の進路が無事に決まる時(女性46歳)/一日が無事に終わって眠る時(女性60歳)

ネガティブな気分



※網掛けは、回答上位3項目

	いらいら	あたふた	もやもや	うんざり	ひやひや	むかつ	くよくよ	やばい	がくつ	がーん
全体	23.1	13.7	13.4	12.5	9.2	7.6	6.0	5.6	3.7	2.6
男性	20.3	10.8	14.9	14.2	9.1	8.2	3.8	7.3	5.0	3.2
女性	25.8	16.7	12.0	10.8	9.3	7.0	8.1	4.0	2.5	2.0

その気分を強く感じそうなシーンは？

いらいら
仕事があまく行かない時(男性26歳)/景気が良くならなると(男性59歳)/人間関係で(男性68歳)/仕事のストレスで(女性24歳)/子供が言うことを聞かない時(女性42歳)/夫とのやりとりで(女性64歳)
あたふた
はじめての育児をする時(女性29歳)/仕事と家事に追われて(女性33歳)/新しい仕事に就く時(女性39歳)/いつも気持ちに余裕がないから(女性43歳)
もやもや
先が見通せないから(男性30歳)/人間関係で(男性43歳)/将来の不安に対して(男性45歳)/自分の思い通りにならない時(女性61歳)

2017年を表す色

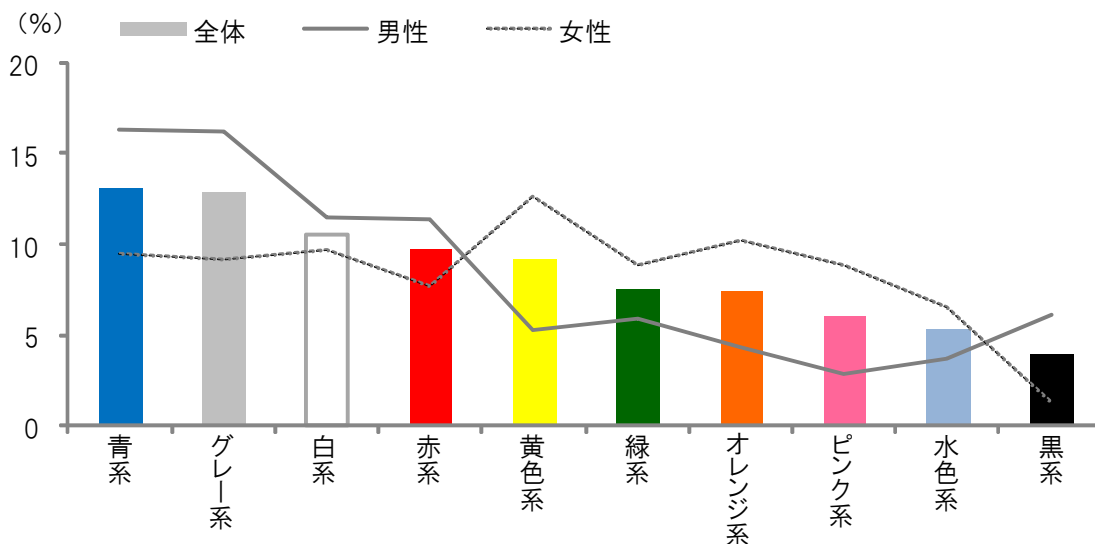
男性は「青」「グレー」、女性は「黄」「オレンジ」

- ・2017年を色で表現してもらると、「青」「グレー」「白」が上位に並びました。
- ・男女別では、男性は全体と同様ですが、女性では「黄」「オレンジ」「白」と比較的明るい色が上位になりました。
- ・男性に比べて女性のほうが、2017年の見通しを明るく前向きに捉えているようです。

2017年を表す色



2017年(来年)を色で表現すると、どのような色になると思いまか。また、その理由はなぜですか(自由回答。後に集計)



	青系	グレー系	白系	赤系	黄色系	緑系	オレンジ系	ピンク系	水色系	黒系
全体	12.8	12.7	10.5	9.5	9.0	7.3	7.3	5.8	5.1	3.7
男性	16.2	16.2	11.4	11.3	5.3	5.9	4.3	2.8	3.7	6.1
女性	9.5	9.2	9.6	7.7	12.6	8.8	10.2	8.8	6.5	1.3

※網掛けは、回答上位3項目

青系	さわやかに晴れ渡る気分になることを期待(男性38歳)/サッパリとしたい(男性46歳)/憂鬱な年になるから(男性54歳)
グレー系	見通しが立たない(男性35歳)/景気が良くならなそう(男性43歳)/真っ暗ではないが明るくはなさそう(男性52歳)
白系	まだ何も決まっていないから(男性35歳)/どんな色にもなれる(女性39歳)/心機一転(男性46歳)
黄色系	元気に行きたい(女性26歳)/お金が貯まりそう(女性48歳)/明るく生きたい(女性56歳)
オレンジ系	元気で過ごしたい(女性23歳)/温かい、ほんわかした年になると良い(女性38歳)/明るく楽しい年になるといい(女性61歳)

“2017年 生活気分” 調査概要

< 2017年 生活気分調査 >

調査地域 全国11都市
 首都40km圏、名古屋40km圏、阪神30km圏、
 札幌20km圏、仙台20km圏、新潟30km圏、
 金沢20km圏、静岡20km圏、広島20km圏、
 高松30km圏、福岡30km圏
 調査手法 インターネット調査
 調査対象 20～69歳の男女 3,900人
 (男性1,941人/女性1,959人)
 調査時期 2016年10月6日(木)～11日(火)
 企画分析 博報堂生活総合研究所
 実査集計 株式会社東京サーベイ・リサーチ

< 参考：消費意欲指数 >

調査地域 首都40km圏、名古屋40km圏、阪神30km圏
 調査手法 インターネット調査
 調査対象 20～69歳の男女 1,500人
 (男性755人/女性745人)
 調査時期 毎月月上旬に実査
 最新:2016年11月4日(金)～8日(火)
 企画分析 博報堂生活総合研究所
 実査集計 株式会社東京サーベイ・リサーチ

< 参考：「生活定点」調査 >

調査地域 首都40km圏、阪神30km圏
 調査手法 訪問留置法
 調査対象 20～69歳の男女 3,160人
 調査時期 1992年から偶数年5月に実施
 最新:2016年5月17日(火)～6月6日(月)
 企画分析 博報堂生活総合研究所
 実査集計 株式会社東京サーベイ・リサーチ

問い合わせ先: 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(三矢・川谷・夏山) TEL.03-6441-6450
 株式会社博報堂 広報室(竹本・西尾) TEL.03-6441-6161